

2016年3月理事会議事録

日 時：2016年3月26日（土）14：00～18：00

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：高倉洋彰・白石浩之・大竹憲昭・大谷敏三・小川 望・岡山真知子・唐澤至朗・河野一也・瓦吹 堅・菊地芳朗・釵持輝久・佐古和枝・佐藤宏之・篠原和大・大工原 豊・田中和彦・新納 泉・橋口定志・橋本裕行・馬淵和雄・宮本一夫・長瀬 衛、監事：白井久美子・吉田哲夫、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：石川日出志・清家 章

進 行：田中和彦

議 長：高倉洋彰

田中理事から、本日の出席者は24名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

田中理事から、群馬県の松村一昭会員が2015年12月27日、長野県の飯塚政美会員が2016年1月7日、福島県の猪狩忠雄会員が2月22日、長野県の矢口忠良会員が3月24日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第311号 2016年度予算案について

大谷理事から、各委員会からの要求理由を加味した上で、本年度の支出状況を踏まえて各事業の見直しを図り、2016年度予算案を作成した。2016年度予算案は、本年度からの継続事業である公式サイトのリニューアルや第8回世界考古学会議関連の事業等に予算を計上したとの説明があり、原案通り承認した。

議案第312号 第6回日本考古学協会賞について

石川副会長及び清家理事が欠席のため田中理事から、2月16日（火）に選考委員会を開催し、応募のあった10件の審査を行い、大賞1名、奨励賞1名を選考したとの報告があり、承認した。

議案第313号 英語論文奨励賞の創設について

宮本理事から、1月理事会からの継続審議である英語論文奨励賞の創設について、選考委員会を別に設けて実施する旨の提案があった。審議の結果、『Japanese Journal of Archaeology』に賞にふさわしい論文が掲載された場合には、英文機関誌編集委員会から推薦し、選考は協会賞選考委員会で行うことで、承認した。

議案第314号 著作権規定について

唐澤理事から、著作権規定案については、意見を寄せていただいた会員にも回答し、合わせて3月発行の会報第185号において会員各位へ詳細な説明を行った。会員の権利に係

ることでもあるので、総会でより丁寧に報告し、会員の理解を得た上で制定を進めたいとの説明があり、承認した。

議案第315号 一般社団法人日本考古学協会規則の一部修正について

唐澤理事から、「一般社団法人日本考古学協会規則」については、2015年度版名簿に掲載することから、1月理事会での承認後、会報第187号にも掲載し、会員に周知している。さらに規定・内規等の整備を進めていったところ、「正会員に関する規定」を設置したことにより、第2条第2項に「入会については、正会員に関する規定を別に定める。」との条文を新たに追加するとの説明があり、原案通り承認した。

議案第316号 旅費規定について

唐澤理事から、旅費規定案について、1月理事会での検討を受け、整備を進めているとの説明があり、現段階での案文が提示された。協議の結果、文言の修正や海外旅費基準の見直し等も含めて、継続審議とした。

議案第317号 日本考古学協会賞規定の一部修正について

唐澤理事から、日本考古学協会賞選考委員会からの提案を受け、日本考古学協会賞規定において、細かな文言修正及び、①第3条第2項に、「協会の機関誌『日本考古学』をはじめ国内外で発表された論文・著書・調査報告書等」と「著書」を追加する。②第3条第3項の「並びに他の刊行物に発表された論文・報告・研究ノート・発表要旨など」を「並びに他の刊行物に発表された論文・著書・研究ノート等」とし、「著書」を追加、「報告」「発表要旨」を削除する、との説明があった。本議案については、2015年度版名簿に掲載することからメール審議で行い、原案通り承認した。

なお、次回改定において、第3条第3項に『Japanese Journal of Archaeology』を加えることが提案され、承認した。

議案第318号 「高尾山古墳の保存・活用に関するご協力をお願い」について

篠原理事から、関連する案件である報告第422号と一括して説明があった。沼津市では高尾山古墳の保存・活用に向けた方策を検討している。道路の設計変更を行うとともに古墳の保存・活用を図るための財源確保を目的とした寄付・ふるさと納税の募集を行っており、支援の依頼があるとの説明があった。審議の結果、総会時や公式サイト・会報等で会員に周知することで承認した。

議案第319号 監事の選定について

高倉会長から、白井監事・吉田監事の任期満了に伴い、新監事候補者2名の推薦提案があった。重任については定款に特に定めがないとの説明があり、新規1名、重任1名を次期監事候補として第82回総会に諮ることを承認した。

議案第320号 事務局長の再任について

高倉会長から、3月末をもって退任する予定である長瀬事務局長について、来年度は理

事改選の年に当たり、円滑な会務運営のためにも再任したいとの説明があり、「事務局長の職務及び勤務に関する規定」第6条の「会長が特に必要と認めた場合、その他特段の事情がある場合に限り、1年以内において再任することができる」により、長瀬事務局長の再任を承認した。

議案第321号 世界考古学会議第8回京都大会開催式典への出席と挨拶について

宮本理事から、世界考古学会議第8回京都大会実行委員会から、開会式において日本考古学協会会長の臨席及び挨拶の依頼があるとの説明があり、承認した。

また、佐藤理事から、「日本考古学フェア」について協力依頼があるとの説明があり、国際交流委員会が中心となって対応するが、埋蔵文化財保護対策委員会等を始め各理事に協力が求められた。

議案第322号 アイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブルの経過について（中間報告）

佐藤理事から、アイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブルのこれまでの議論の総括と今後の課題について、「中間まとめ」の提示があった。協議の結果、内閣官房アイヌ総合政策室作業部会に提出することを承認した。

議案第323号 北海道アイヌ協会・人類学会・日本考古学協会共催公開講演会について

佐藤理事から、国際先住民の日である2016年8月6日（土）に、北海道アイヌ協会・人類学会・日本考古学協会の共催で、主にアイヌの方々を対象に、札幌市内で、人類学や考古学・歴史学研究からのアイヌ民族の研究成果について公開講演会を行う計画があるとの説明があり、原案通り承認した。

議案第324号 日本第四紀学会公開シンポジウム後援依頼について

大工原理事から、日本第四紀学会から「日本第四紀学会主催の考古学、人類学、土壌学とジオパークに関する公開シンポジウム」の後援依頼があるとの説明があり、承認した。

議案第325号 退会の承認について

瓦吹理事から、青森県の*会員、宮城県の*会員、福島県の*会員、茨城県の*会員、埼玉県の*会員・*会員・*会員、東京都の*会員・*会員、新潟県の*会員、石川県の*会員、静岡県の*会員、大阪府の*会員・*会員、岡山県の*会員、鳥取県の*会員、佐賀県の*会員から2015年度をもつての退会届け、神奈川県*会員、滋賀県の*会員、奈良県の*会員からは2016年度をもつての退会届けが提出されている旨の報告があり、退会を承認した。

報告第439号 第82回総会について

大竹理事から、第82回総会日程並びに理事役割分担（案）の説明があった。また、佐藤理事から、高校生ポスターセッションの賞の選考について説明があり、了承した。

報告第440号 理事選挙について

瓦吹理事から、2月16日（火）に第2回選挙管理委員会を開催し、荒井副委員長とともに「選挙公報」を作成し、当日欠席の清水委員長に後日確認いただいた。理事定数23名のところ立候補者は22名であり、4月2日（土）に開票作業を行うとの報告があり、了承した。

報告第441号 日本考古学協会規程集について

唐澤理事から、各規程に伴う書式について整備中であるとの説明があり、了承した。

報告第442号 高尾山古墳保存問題の現況について

篠原理事から、2015年9月理事会報告以降の経緯が説明された。沼津市では「高尾山古墳保存と都市計画道路（沼津南一色線）整備の両立に関する協議会」が実施され、協議会では6つの整備案の評価を取りまとめ、中でも、T字交差点を設けて古墳の西側に道路を迂回させる案について推奨した、との報告があり、了承した。

報告第443号 HPリニューアル検討小委員会報告

小川理事から、3月13日（日）に委員会を開催し、リニューアル後の公式サイトを担当する広報委員会委員も同席し、現況について確認を行った。順次作業を進めているが、まだ公開できる状況ではないため、しばらくは現在の公式サイトを閲覧できるように対応するとの報告があり、了承した。

報告第444号 第10回公開講座報告

大竹理事から、第10回公開講座「よみがえる近代の産業遺跡－現地に保存された金山水車（轟製錬所）跡を語る！－」を3月19日（土）にミュージアム知覧会議室で開催し、120名を超える参加を得たことが報告され、了承した。

報告第445号 協会図書に係る検討小委員会報告

白石副会長から、3月12日（土）に担当理事を中心に委員会を開催し、①現在、協会宛に送付いただいている図書の継続寄贈について、奈良大学図書館と受入体制について協議し明文化する必要がある。②総・大会時の図書交換会における協会分と実行委員会分との寄贈冊数について、検討中である。③今後の継続寄贈における重複本の解消を目指すとの報告があり、了承した。

報告第446号 英文機関誌編集委員会報告

宮本理事から、3月13日（日）に編集委員会を開催し、①『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）Vol. 3, No. 2の刊行について報告された。②JJA Vol. 4, No. 1及びNo. 2について、掲載内容を検討した。③国内からの投稿に関して、投稿を促すために「英語論文の書き方」等のワークショップを行う計画があるとの説明があり、了承した。

報告第447号 機関誌『日本考古学』編集委員会報告

篠原理事から、①第82回総会に合わせて刊行する『日本考古学』第41号の掲載内容について、②『日本考古学』第42号以降の投稿・依頼状況について説明があった。また、③これまで10月の大会時に委員会を開催していたが、委員の出席状況を鑑み、今後は事務局開催とするとの報告があり、了承した。

報告第448号 広報委員会報告

馬淵理事から、3月13日（日）に委員会を開催し、①リニューアル後の公式サイトを担当するに当たり、これまでの継続性を視野に入れて来年度の体制について協議した。②マスコミから問合せがあった際の対応について、事務局との情報共有・効率的な対応方法について検討を行ったとの報告があり、了承した。

報告第449号 研究環境検討委員会報告

篠原理事から、1月30日（土）に委員会を開催し、①第82回総会におけるポスターセッションについて、先のアンケートの項目・内容ごとに各委員で分担して分析を進めてポスターを作成する。②2016年度の体制について協議したとの報告があり、了承した。

報告第450号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

橋口理事から、①3月10日（木）に東日本大震災対策特別委員会と合同で文化庁と面談し、東日本大震災対策特別委員会からは被災3県の状況と人員確保の課題について、埋蔵文化財保護対策委員会からは要望書を提出している遺跡の保存問題について、意見交換を行った。続けて、2016年2月幹事会及び3月幹事会の報告があり、②北九州市城野遺跡の保存活用要望書に対する回答について、対応を協議した。③三原市和霊石地蔵磨崖仏の保存問題については、2月10日付で保存要望書を提出した。④沼津市高尾山古墳について、協議会の提唱が報告され、今後の推移を注視する。⑤埋蔵文化財保護をめぐる状況の10年間のアンケートについて、原稿を取りまとめて機関誌『日本考古学』への掲載を計画している。⑥福山市鞆の浦について、裁判は結審したものの引き続き状況を注視する必要があるとの説明があり、了承した。

報告第451号 陵墓報告

新納理事から、①鳥居立替工事に伴う立会調査見学が1月27日（水）に野口王墓古墳（天武・持統天皇陵）で実施され、当会からは佐古理事が参加した。②護岸整備工事に伴う立会調査見学が1月29日（金）に土師ニサンザイ古墳（東百舌鳥陵墓参考地）で実施され、当会からは菊地理事が参加した。③2015年度の立入り観察を2月26日（金）に実施した。対象とした陵墓は、渋谷向山古墳（景行天皇陵）で、当会からは清家理事と新納理事が参加したとの報告があり、了承した。

報告第452号 東日本大震災対策特別委員会報告

菊地理事から、奈良大会時の2015年10月17日（土）及び2016年1月31日（土）に委員会を開催し、①被災3県の状況が報告され、2016年3月の集中復興期間の終了後、さらに今後5年間は復興・創生期間と位置づけられ、復興交付金が延長されることとなったが、報

告書の刊行については今後も注視していく必要がある。②文化遺産防災ネットワーク推進会議への参加が報告された。③被災自治体、派遣元機関、派遣者を対象に、東日本大震災復興に係る関連埋蔵文化財調査状況アンケートを実施する。④東日本大震災復興事業に伴う発掘調査の成果報告会を2016年1月30日(土)に宮城県名取市文化会館で、1月31日(日)に福島県サンライフ南相馬で開催し、それぞれ100名前後の参加を得たことが報告され、了承した。

報告第453号 文化財に関する諸問題検討会報告

田中理事から、3月7日(月)に、横浜ユーラシア文化館の畠山 禎氏からお話をうかがったとの報告があり、了承した。

報告第454号 会費高額滞納者について

長瀬常務理事から、1月理事会において督促を要請した3万円の高額滞納者について、会費納入が確認されていない会員に対し、各理事に改めて督促を要請した。

以 上